

## モータースポーツ活動



トヨタはクルマの持つ限りない可能性や素晴らしさ・楽しさを世界中の人びとに伝えるため、モータースポーツの積極的な活動を推進しています。2006年は「フォーミュラ・ワン世界選手権(F1)」、米国の「NASCAR\*」、日本の「SUPER GT」「フォーミュラ・ニッポン」を当社のモータースポーツ活動の柱としています。

世界最高峰のレース「F1」では、2005年に、目標としていた表彰台獲得を実現し、コンストラクターズランキングでも4位となるなど着実な成果を上げました。参戦5年目を迎えた2006年は、車両規則の変更に対応する新型F1カー「TF106」を投入し、ドライバーは前シーズンと同じラルフ・シューマッハー、ヤルノ・トゥルーリの布陣で初優勝とともに継続的なポイント獲得を目指していきます。

米国の「NASCAR」では、2004年にピックアップトラック「タンドラ」で初参戦し、2005年は「クラフツマン・トラック・シリーズ」で9回の勝利を収めました。さらに2007年には、「ネクステル・カップ・シリーズ」および「ブッシュ・シリーズ」に「カムリ」での参戦を決定しました。

日本では、トップカテゴリーとして「SUPER GT」参戦6チームへの支援を

継続するとともに、フォーミュラカーのトップカテゴリーである「フォーミュラ・ニッポン」に新規参戦し、7チームへのエンジン供給を開始しています。

また、世界および日本のトップカテゴリーにおいて活躍できるレーシングドライバーの育成を目的とした「トヨタ・ヤング・ドライバーズ・プログラム(TDP)」を推進しています。このプログラムでは、意欲と才能に溢れる人材を発掘し、それ

ぞれが実力に応じてステップアップできるシステムとし、世界的に活躍するトップドライバーの育成を引き続き行っていきます。

\* アメリカ合衆国で最大のモータースポーツ統括団体NASCAR(ナスカー、National Association for Stock Car Auto Racing)が統括するストックカーレースの総称。四輪車販売をベースに改造を施した車両(ストックカー)のレースで、主に北米大陸で行われる独自のレースカテゴリー。

### 富士スピードウェイで2007年F1日本グランプリを開催

トヨタが93.4%出資する富士スピードウェイ株式会社は、フォーミュラ・ワン世界選手権(F1)の開催権利等を管理するフォーミュラ・ワン・アドミニストレーション(FOA)と、F1日本グランプリを2007年10月に富士スピードウェイで開催することで合意しました。

富士スピードウェイは1966年に開業し、世界でも有数の超高速サーキットとして約40年にわたり、数々の国際・国内レースを開催してきました。F1についても、日本初開催となった1976年、翌1977年と過去2回の開催実績があります。既に2005年には施設を全面リニューアルし、世界最新のサーキットとして国際自動車連盟(FIA)が定める、F1開催に必要な「グレード1」ライセンスを取得済みで、2007年の開催は1977年以来30年ぶりとなります。

